



「とりけん」ってなに？

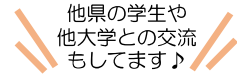
とっとりけんがくせいけんけつすいしんきょうぎかい
「鳥取県学生献血推進協議会」の略称で



3サークル（下記参照）が所属しています！

活動内容：

- 各大学の献血状況・活動などの情報共有
- 街頭献血での呼びかけ
- 中四国単位での会議・研修会があります。他大学の献血運営に関わることも！



他県の学生や
他大学との交流
もしてます♪

さらに！

今年度からはとりけんでの研修会兼交流会などを
企画して交流機会を増やしていきたいと考えています。
気になった方は是非各サークルのSNSをフォローしてください!!



白うさぎ（鳥取大学）

様々な学部のあるキャンパスなだけに色々な学部の
人が所属して上は院生まで!!
部員25名で各々の案を出し合い、より良い推進
活動を行えるように試行錯誤しています。



コハクチョウ（鳥取大学医学部）

医学部の特徴を生かして推進することが使命!
毎年錦祭では学内献血と骨髄バンクのドナー登録
をしています。病院の中の血液センターの見学も
できます。



鴉鷲（公立鳥取環境大学）

部員7名で活動しています！部員数は少ないで
すが、学内外で様々な活動を行っており日本赤
十字社の方々や他大学の献血サークルと協力し、
幅広い人々と交流を深めています。



Follow Me

発行

鳥取県献血推進サークル
「白うさぎ」「コハクチョウ」「鴉鷲」
鳥取県赤十字血液センター



白うさぎ



コハクチョウ



鴉鷲（おしどり）

若い世代（同世代）へ
献血を広める
活動をしています！

鳥取県若年層向け献血啓発広報誌



あとり A T O R I



Topic

◆献血の現状～若い世代が減少?～

◆学生も献血してます！

◆血液のゆくえ

◆Interview
～骨髄移植・輸血を受けて～

◆とりけんってなに？

illustration by Aika



献血の現状

若い世代のご協力がとっても重要です！



献血でいただいた血液は、輸血用血液製剤として病気の治療などに使用されています。輸血用血液製剤を使用している人の約80%が50歳以上のの方々である一方、献血をしている約60%以上は50歳未満の方々です。少子高齢化が進んでいくと将来の安定供給に支障をきたす恐れがあります。



若い世代が減少中!!



REPORT

大学生も献血してます！



鳥大2年 H・Rさん

母が献血好き（140回超え！）で献血が身近だったから始めました。医学を学ぶことで献血の必要性に気づきました。

献血がどんなものか気になったからはじめました。血液検査で健康チェックできるのがお得！

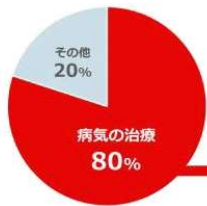


鳥大2年 T・Mさん

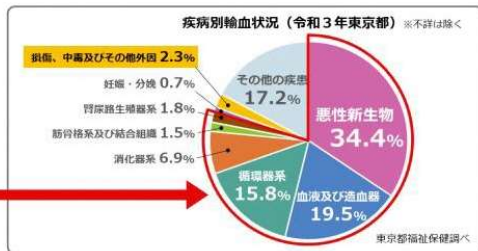


血液のゆくえ

輸血のほとんどは病気の治療に使用されています！



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。



特に白血病などの「がん」の治療に多く使われています。



1口メモ

いただいた血液は今後の医療の発展に向けた研究に用いられることもあります。医療にとって「輸血」「献血」はなくてはならないものです。



INTERVIEW

骨髄移植：骨髄の中にある造血幹細胞が異常をきたし、正常な血液が作られなくなる病気を治療するための医療行為。

輸血・骨髄移植を受けた方に学生がインタビューをしました



O.Aさん(66)男性
10年前に急性骨髄性白血病を発症



K.Mさん(51)女性
25年前に骨髄異形成症候群を発症その後、急性骨髄性白血病へ移行



A.Rさん(35)女性
26年前に再生不良性貧血を発症、17年前に急激に悪化



「何回輸血を受けましたか？」

一か月に一回だった輸血が一週間に一回に…。輸血依存になりました。臓器に負担がかかるため、骨髄移植を決めました。合計80～100回輸血を受けたと思います。(A・Rさん)

赤血球輸血44回、血小板輸血70回の計114回でした。(O・Aさん)

抗がん剤による処置はどうでしたか？

2年間ドナーさんが見つからなかったため化学療法の間が長かったです。激しい吐き気に耐えるのがとても辛かったです。新規でドナー登録してくださった方と一致したのは奇跡です。(K・Mさん)



移植したときの体調はいかがでしたか？

骨髄移植後には慢性移植片対宿主病を発病することがあります。移植される骨髄液が患者さんの臓器を異物とみなして起きる症状です。目が乾いて車の運転ができなくなったり、唾液が出ないことで味覚がなくなりました。ひどい帯状疱疹にもなりました。(O・Aさん)

学生へのメッセージをお願いします！

ドナーさんに会って心からお礼がしたい。骨髄移植の際にドナー候補が出るが辞退されると辛いので、ドナー登録してくるのは嬉しいが覚悟を持ってほしい。(O・Aさん)

学生に医療倫理を教える中で、自身の経験に共感して実際に献血やドナー登録してくれる人がいて嬉しい。献血や骨髄移植で助かった人がいる事を伝えたい。(K・Mさん)

みんながしているからではなく、知識をつけて余裕がある時に献血や骨髄ドナー登録してほしい。情報発信は献血ができなくてもできる、非常に大切な事。(A・Rさん)

【インタビュー後記】ドナーの方やその家族の方への感謝の言葉がとても印象に残っています。手術や治療、精神的な葛藤を乗り越えた方の強さや前向きさに触れることで自分自身の生き方を見直すきっかけになりました。(環境大 F・R)